

令和6年度「女性医師支援・ドクターバンク連携ブロック会議」

日本医師会 女性医師支援センターからの報告

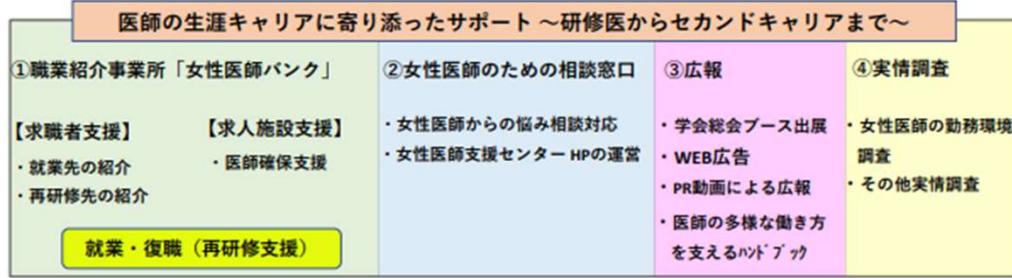
公益社団法人日本医師会
常任理事 松岡 かおり



活動方針

女性医師等（女性医師支援に資する育児等に参加する男性医師を含む）の出産や育児などによる離職を防止するため、女性医師等がライフステージに応じて働くことのできる柔軟な勤務形態の促進やキャリア形成の支援を図ること、ならびに、医師に対する時間外労働の上限規制の運用に伴い、医師の働き方改革を進めながら就業医師数を確保するため、女性医師に限らない人材確保を行うことを目的に活動しています。

女性医師バンク事業



キャリアパス



再就業講習会事業

- ① 医学生・研修医等をサポートするための会

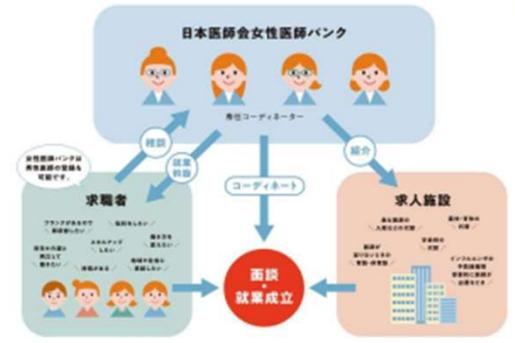
男女問わず、医学生や研修医等の若い世代の方たちに「男女共同参画」や「WLB」について啓発を行い、女性医師のキャリア形成・継続を支援することを目的として開催しています。
- ② 女性医師等の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会

出産や育児等による女性医師等の離職防止や、キャリアを中断することなくライフステージに合わせた働き方を継続するためには、魅力ある職場づくりが必要であることから、病院長等に対して、女性医師等に関する就業上の問題点を明らかにするとともに、柔軟な勤務形態の促進やライフイベントとキャリアの両立についての啓発を行うことを目的に開催しています。
- ③ 地域における女性医師等支援のための会

女性医師等のライフイベントとキャリアの両立には、女性医師等支援のための地適な活動が必要です。そのため、女性医師等支援活動や就業支援(医師バンク)の普及推進に向けて、各地でディスカッションしていただくことを目的として開催しています。
- ④ 託児サービス併設費用補助

子育て中の医師の学習機会を確保するために、研修会・講習会などを開催する際の「託児サービス」の設置促進と費用補助を行っています。

PDCA



女性医師連携プロジェクト会議

医師の多様な働き方を支えるハンドブック

医師の多様な働き方を支えるハンドブック

<目次>

- 第1章 社会人として働くうえでの基本的知識
- 第2章 勤務医として働くうえに必要な知識
- 第3章 出産・育児期の課題とその支援

<https://www.med.or.jp/joseishi/article037.html>

ダウンロードはこちらから

PDCA

女性医師支援センター事業運営委員会



女性医師バンク事業について

女性医師バンクについて

- ☆ 平成19年1月30日開設の職業紹介事業
- ☆ 求人・求職 紹介から成立まで利用料はすべて無料
- ☆ 女性・男性問わずすべての医師が利用可能
- ☆ 医師会員・非会員問わず利用可能
- ☆ 日本全国、専任コーディネーターによるマッチング

日本医師会女性医師バンク

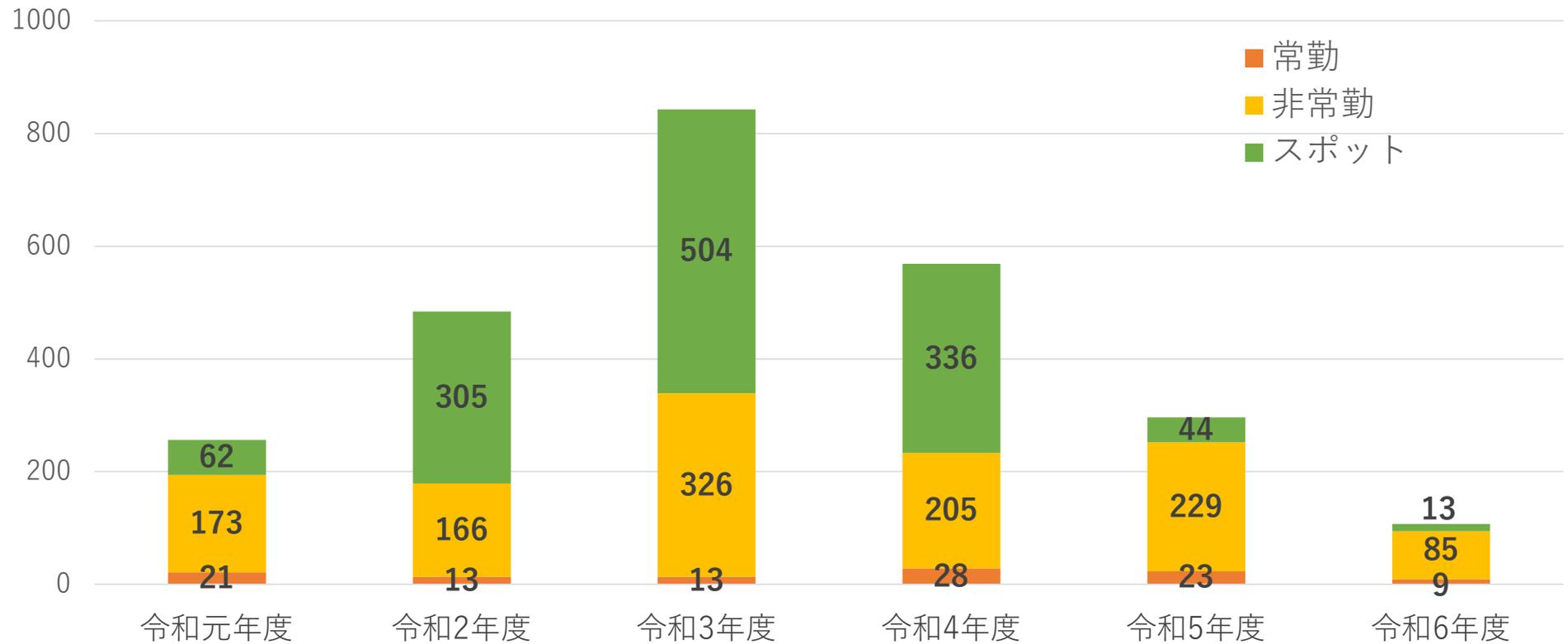
検索



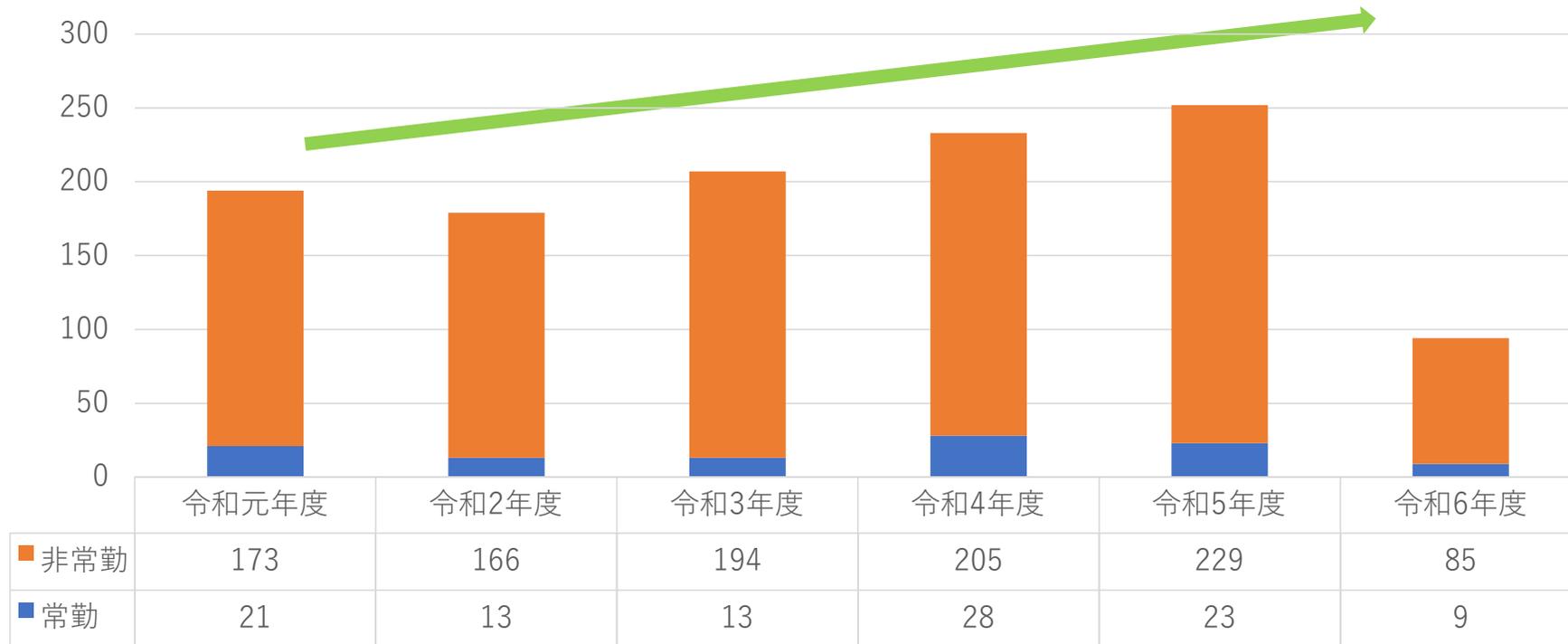
■医師登録者数	4,308名
■求職登録者数	511名
■施設登録数	7,032件
■求人登録件数	常勤・非常勤 1,919件
	スポット 58件
■就業成立件数	3,446件（累計）

女性医師バンク 成立実績 令和6年9月末時点

女性医師バンク 成立実績 (常勤・非常勤・スポット)

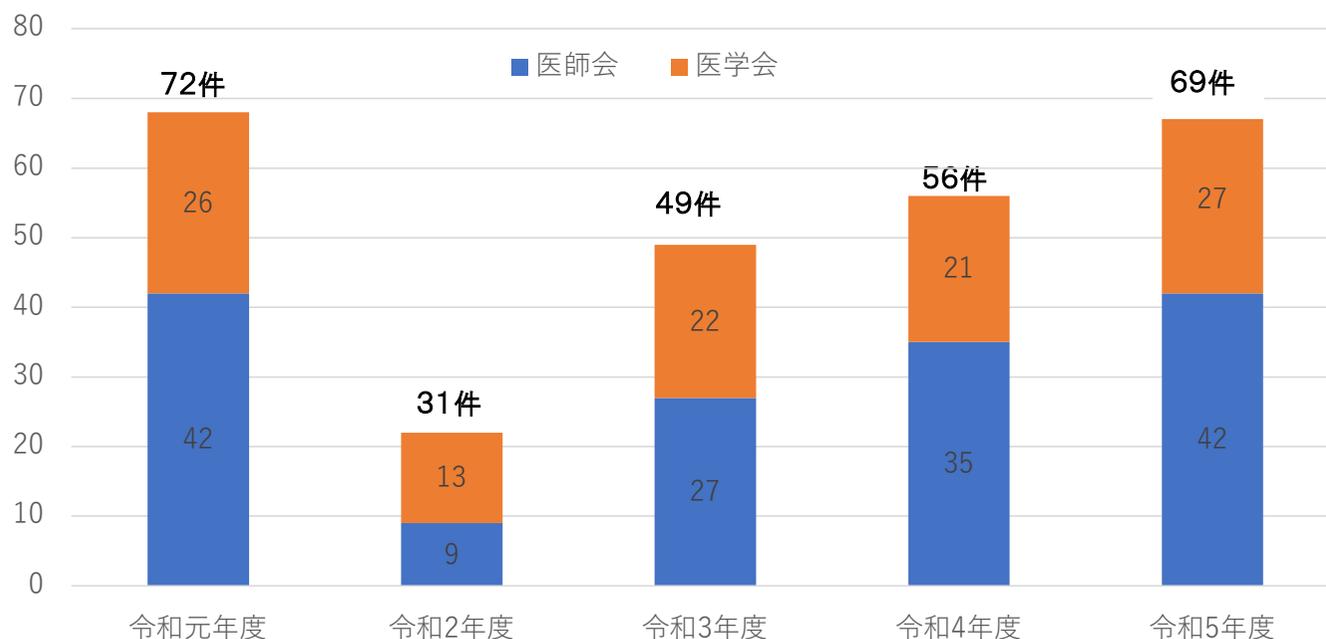


常勤・非常勤 成立実績
(スポット・コロナ関連除く)



再就業講習会事業について

「医学生、研修医等をサポートするための会」



令和6年度(9/30現在)

申請: 50件

□ 医師会: 24件

□ 医学会・医会: 26件

- 目的：医学生や研修医等、若い世代の方たちに男女共同参画やワークライフバランスについて啓発を行い、女性医師のキャリア形成・継続を支援することを目的とする。男女共同参画やワークライフバランスについての講習会や座談会を開催していただく。
- 対象：都道府県医師会、医学会分科会、医会
- 助成：費用の一部(上限20万円)を負担する。

「女性医師等の勤務環境の整備に関する病院長、病院開設者・管理者等への講習会」

令和6年度(9/30現在) 申請:1件

令和元年:18件 令和2年:7件 令和3・4年:休止 令和5年:14件

- **目的** : 女性医師等の就業上の問題点などを明らかにするとともに、柔軟な勤務形態の促進やライフイベントとキャリアの両立についての啓発を行う。
- **対象** : 都道府県医師会
- **助成** : 費用の一部(上限20万円)を負担する。

「地域における女性医師等支援のための会」

新規 <令和6年度(6月)から開始>
(9/30現在) 申請:6件

- **目的** : 女性医師支援活動や就業支援(女性医師バンク)の普及推進に向けて、各地でのディスカッションを目的とする。 ※ 医師会<組織>主導で開催。
- **対象** : 都道府県医師会または郡市区医師会 (都道府県医師会がとりまとめて申請)
- **助成** : 参加者1名につき3,000円(税込)かつ最大25名分(75,000円)を負担する。

「医師会主催の研修会等への託児サービス併設費用補助事業」

令和6年度(9/30現在) 申請:0件
※12月・翌年3月申請締切り

令和元年:104件 令和2年:5件 令和3年:4件 令和4年:14件
令和5年:22件

- **目的** : 勤務継続及び復職の支援を行う観点から、育児中の医師に対して学習機会を確保するため、各地の医師会が主催する女性医師等の就業を支援することについて効果のある研修会等に託児サービスを併設するための費用補助を行う。
- **対象** : 都道府県医師会または郡市区医師会（都道府県医師会がとりまとめて申請）
- **助成** : 1都道府県医師会(上限30万円)を負担する。
ただし、政令指定都市には加算あり。

前年度ブロック会議以降の活動内容

1. 女性医師バンクとハローワークとの連携（医師の就業支援強化）
2. 女性医師バンクと都道府県医師会ドクターバンクとの連携
3. 50代医師の将来のキャリアプランに関する調査

1. 女性医師バンクとハローワークとの連携（令和6年5月～）

【経緯】

厚生労働省より医師不足の課題を解決するための一つの取り組みとして、「ハローワークの保有する求人・求職情報と女性医師バンクの保有する求人・求職情報を連携することにより、就業成立数の増大を図りたい」との申し入れがあった。

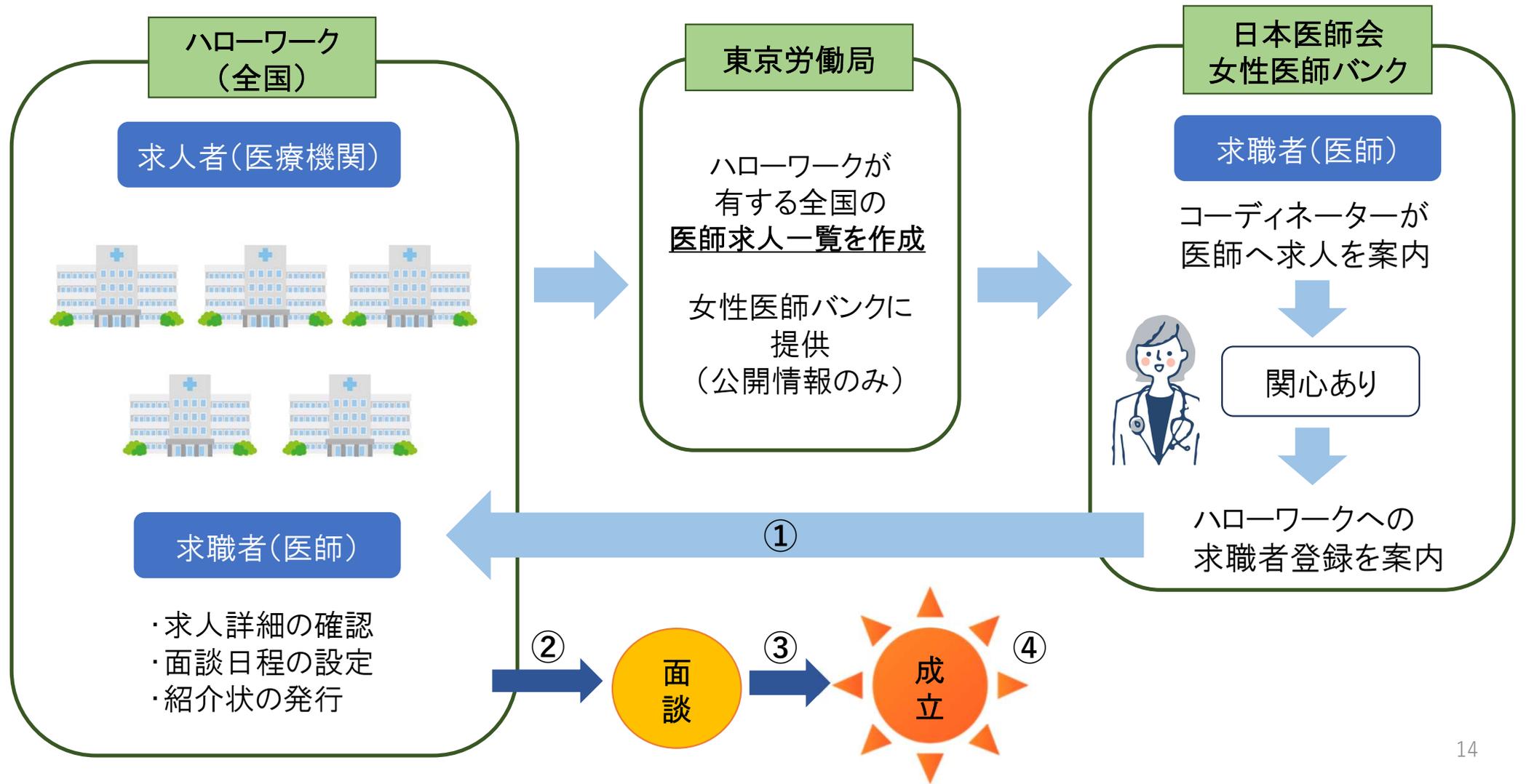
【目的】

- ① ハローワークが保有する求人施設情報ならびに求職者情報を得ることで、就業成立増大の可能性を追求する。
- ② 連携の幅を広げ、紹介可能母数の増大を図ることにより、女性医師バンクへの登録に対する関心を高め、求人・求職の登録数増大を狙う。

【メリット】

- ① ハローワークは国の事業のため信用度が高く、また、登録された求人施設・求職者の紹介に費用負担も発生しないことから、女性医師バンクが紹介できる施設の母数拡大につながる。
- ② ハローワークの登録求人は、3カ月ごとに情報がリニューアルされるため、鮮度の高い情報を確実に求職者へ届けることができる。

■ 日本医師会女性医師バンクとハローワークとの連携フロー



ハローワーク 医師のしごとと求人情報

(SAMPLE)

- ◎ 詳しい内容を知りたい方、面接を希望される方はハローワークの紹介窓口へお問い合わせください。
- ◎ 面接にはハローワークが発行する紹介状が必要です。
- ◎ 賃金欄の金額について、年俸制・月給制の場合は月額、日給制・時給制の場合は時間額で表記しています。
- ◎ 労働時間によって記載されている各種社会保険に加入できない場合があります。
- ◎ ハローワークでは随時紹介を行っておりますので、この求人の中でもすでに決定済となっている場合があります。その際はあしからずご了承ください。

お問い合わせは
最寄りのハローワークまで



職種	年齢・ 指針	賃金 (年俸制、月給制：月額) (日給制、時給制：時間額)	求人者名	所在地・就業場所	就業時間	加入保険等	必要な免許資格
法務技官【医師】 雇用期間の定めなし 正社員	不問	月給 434,420円～570,024円	〇〇拘置所 28010-21500841	兵庫県神戸市北区△△ TEL 078-000-0000 (従業員数 138人) 就業場所：兵庫県神戸市北区	(1) 8時30分～17時00分	公災・その他	医師
医師（施設長） 雇用期間の定めなし 正社員	不問	月給 800,000円～1,200,000円	社会福祉法人〇〇 02050-1886341	青森県上北郡△△ TEL 0175-00-0000 (従業員数 116人) 就業場所：青森県上北郡	(1) 8時30分～17時30分	雇用・労災・健康・厚生	医師
医師 雇用期間の定めあり (4ヶ月以上) 正社員以外	不問	年俸制 833,333円～1,000,000円	社会福祉法人 〇〇会 47010-22634641	沖縄県豊見城市△△ TEL 098-000-0000 (従業員数 100人) 就業場所：沖縄県豊見城市	変形(1ヶ月単位) (1) 8時30分～17時30分	雇用・労災・健康・厚生	医師
呼吸器内科医 非常勤 雇用期間の定めなし パート労働者	64歳以下	時給 13,000円～14,000円	医療法人社団 〇〇 14010-40668441	神奈川県横浜市南区△△ TEL 045-000-0000 (従業員数 5人) 就業場所：東京都大田区	(1) 9時00分～12時00分 (2) 15時30分～18時30分	労災	医師
医師 雇用期間の定めなし 正社員	59歳以下	月給 660,056円～746,128円	〇〇病院 17010-20119241	石川県金沢市△△ TEL 076-000-0000 (従業員数 949人) 就業場所：石川県金沢市	(1) 8時30分～17時15分	雇用・労災・健康・厚生・財形	医師

求人件数：84件（医療機関73件、行政機関6件、一般企業4件、その他1件） 2024年9月30日時点

2. 女性医師バンクと都道府県医師会ドクターバンクとの連携

【背景】

- ・人材確保を検討し、ワークシェアリングを促進させたい施設が増えていると想定。
- ・日本医師会女性医師バンクには、全国ベースの求職者(医師)や求人施設の登録があるが、特に求人情報量において都市部と都市部以外で大きな差（都市部は厚く、以外では薄い）が生じている。
- ・一方、都道府県医師会ドクターバンクは、該当地域での求人情報量が豊富である反面、求職者については更なる増加が求められる。

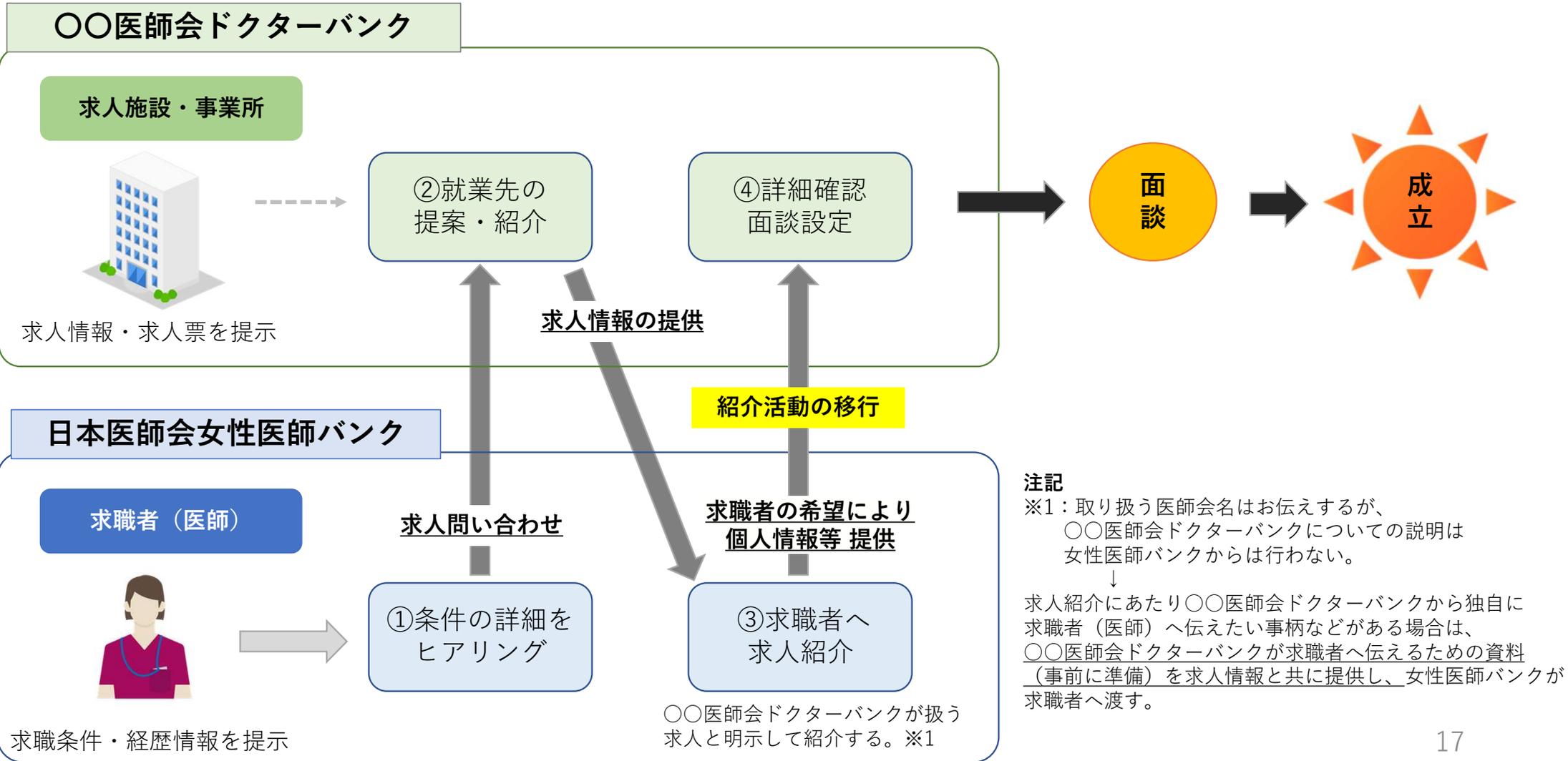
【目的】

都道府県医師会ドクターバンクと日本医師会女性医師バンクの強みを連携することで、登録がある求職者・求人施設の情報を適時共有し、望ましい紹介活動を行うことができる環境・流れを整え、就業成立件数の増加につなげる。

【スケジュール】（令和5年本連携立案時）

- ・12月　：業務提携の準備開始
- ・1月～3月末　：実務フローの整備→テスト→修正作業
- ・4月1日　：業務提携正式スタート

■ 女性医師バンクと都道府県医師会ドクターバンクとの連携フロー



3. 50代医師の将来のキャリアプランに関する調査

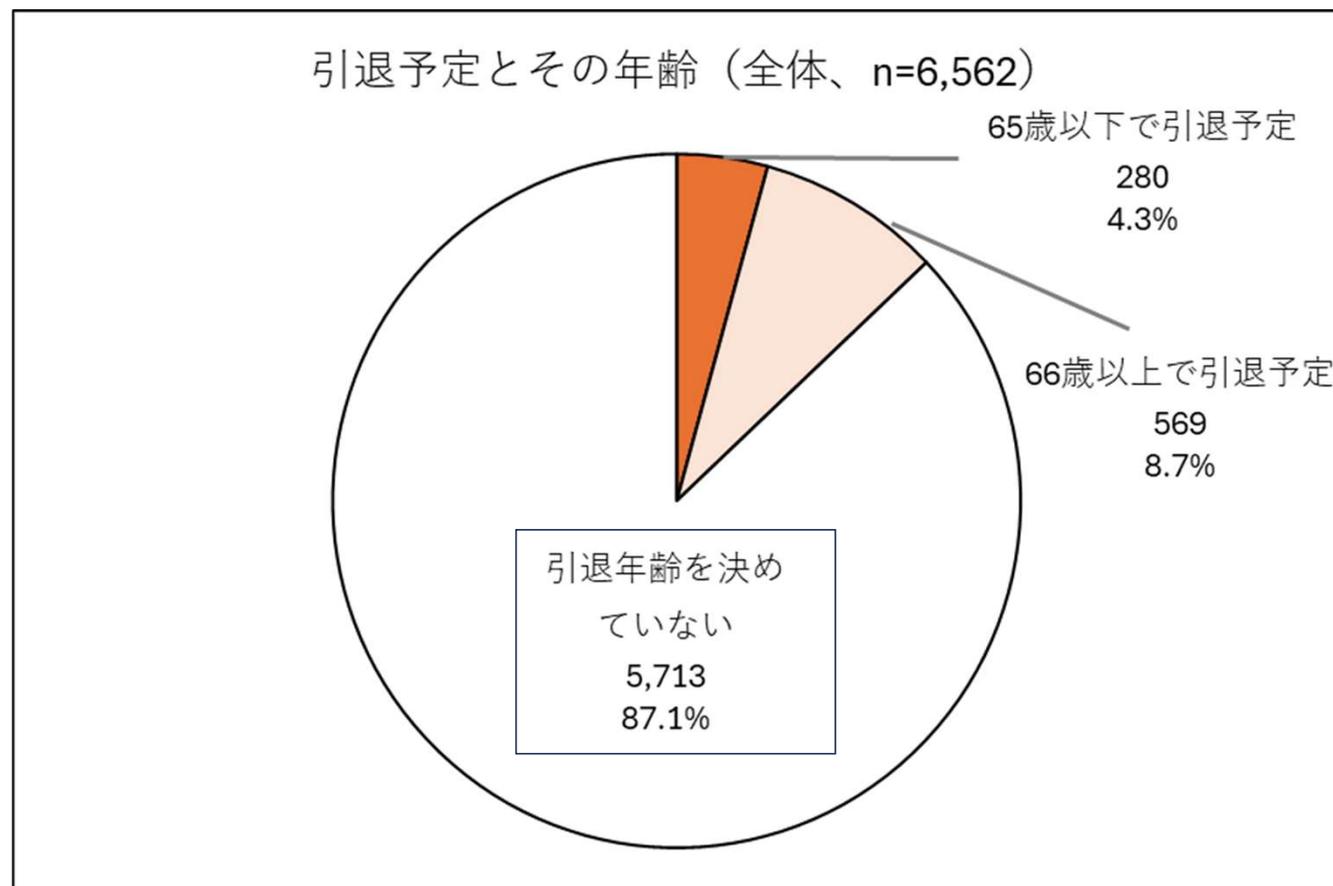
【調査概要】

調査目的	シニア世代の医師のさらなる活躍と男女共同参画の推進に向けた具体策の検討と政策提言のための基礎資料として、以下2点を把握すること。 (1)現在の働き方に関わる状況 (2)将来(65歳以降)のキャリアプラン
調査対象	50代の日本医師会会員
調査方法	ウェブ・アンケート調査
実施期間	2023年11月19日～27日
監修	日本医師会 男女共同参画委員会
実施主体	日本医師会 女性医師支援センター
設計・分析	日本医師会総合政策研究機構
回収率	16.2% (回収数6,562、送付数40,592、未達数138)

資料掲載先⇒<https://www.med.or.jp/joseiishi/article022.html>

引退予定とその年齢(全体)

引退年齢を決めていない医師は9割弱。
他方、65歳以下で引退予定が4.3%

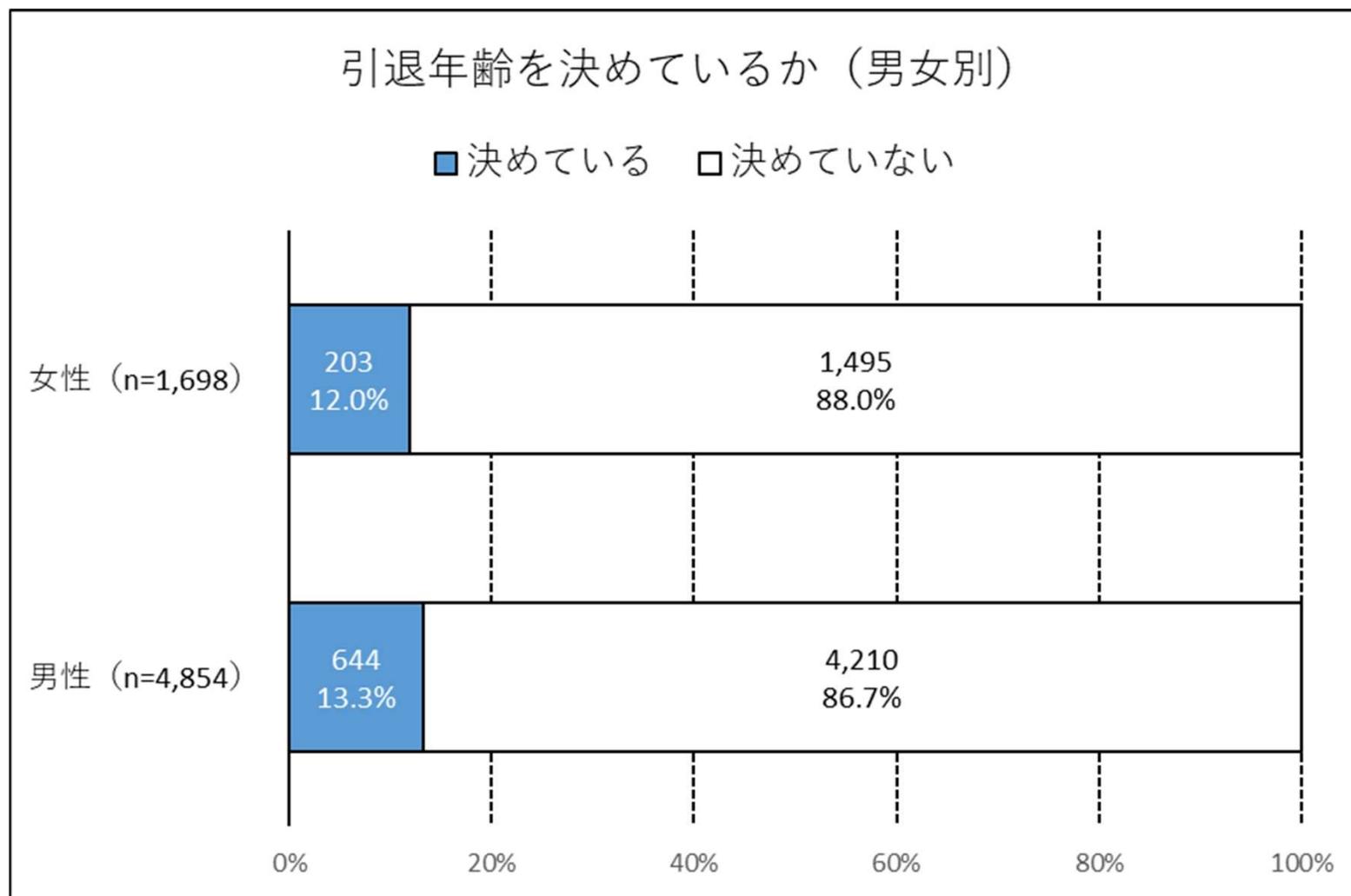


清水麻生、坂口一樹、羽藤倫 (2024)
「50代医師の将来のキャリアプラン調査-現在の働き方と65歳以降に想定するキャリア-」日医総研ワーキングペーパー No.483

※小数点以下の四捨五入の関係で合計がちょうど100%にならない場合がある。

引退年齢を決めているか(男女別)

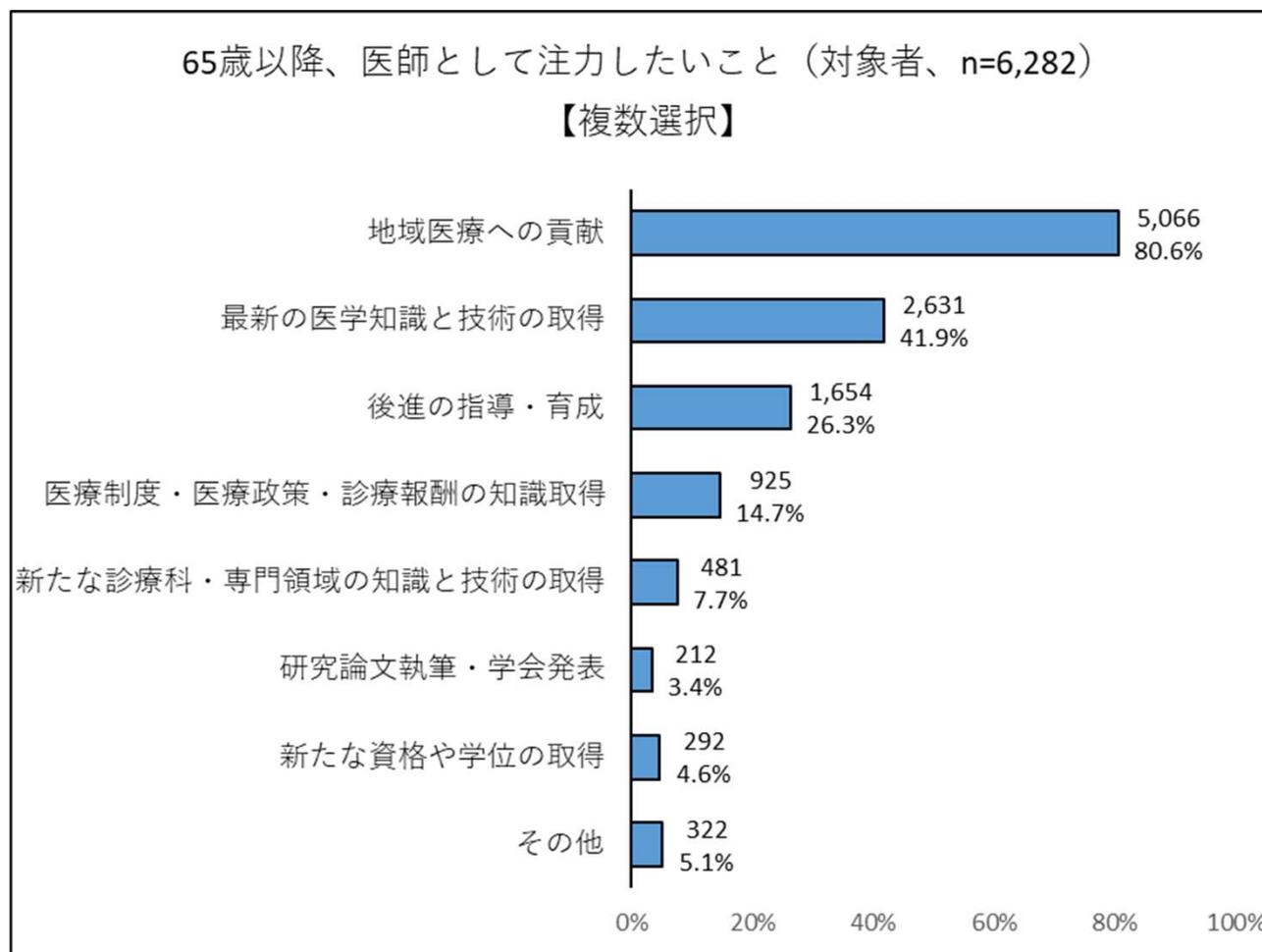
男女ともに、9割弱が引退年齢を決めていない。



清水麻生、坂口一樹、羽藤倫
(2024) 「50代医師の将来のキャリアプラン調査-現在の働き方と65歳以降に想定するキャリア-」日医総研ワーキングペーパー No.483

[就労継続者]医師として注力したいこと（対象者全体）

65歳以降、医師として注力したいこととして最も多く挙げられていたのは、「地域医療への貢献」である。

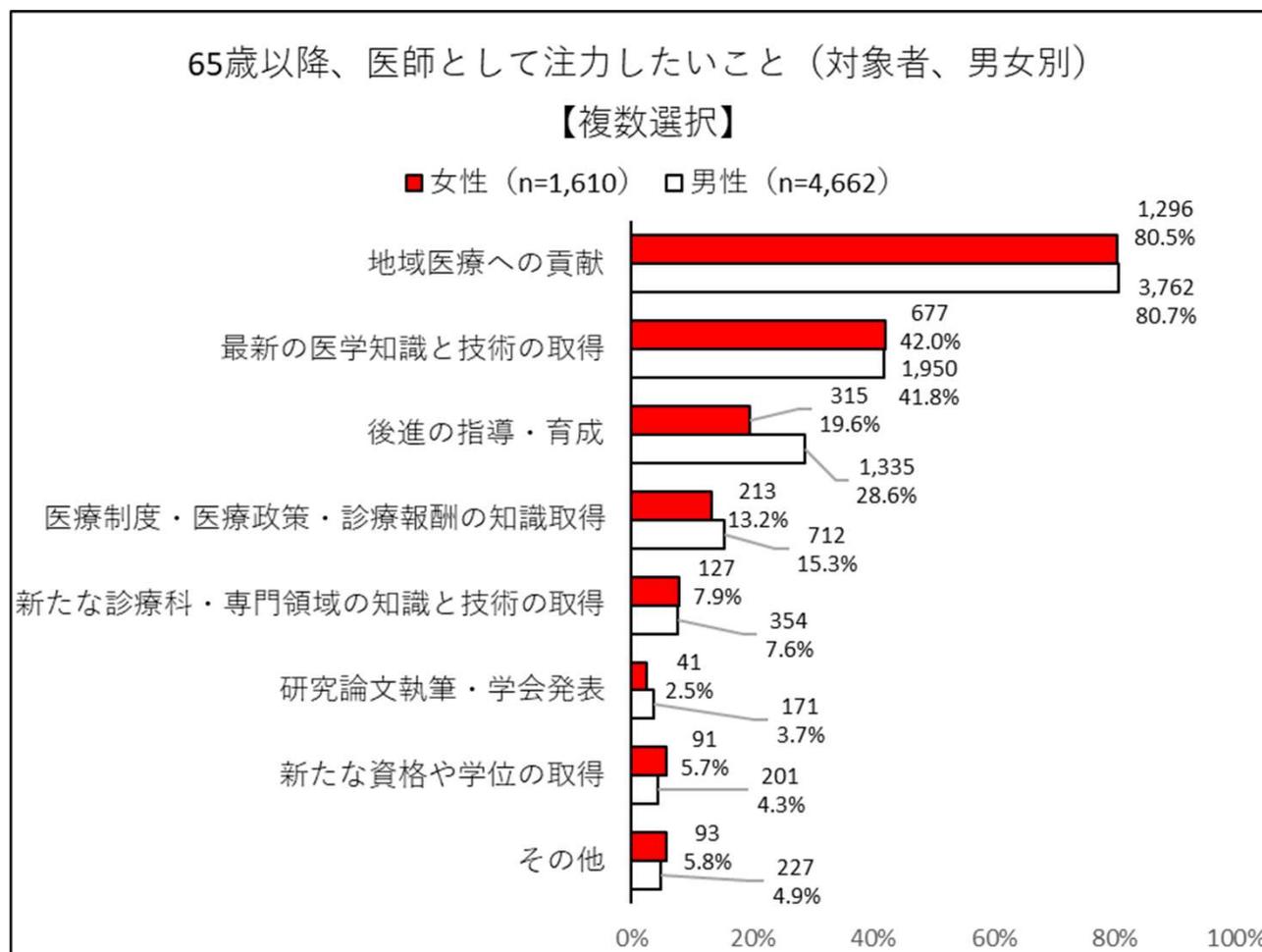


就労継続者：65歳以下で引退予定とした回答者以外

清水麻生、坂口一樹、羽藤倫（2024）
「50代医師の将来のキャリアプラン調査-現在の働き方と65歳以降に想定するキャリア-」日医総研ワーキングペーパー No.483

[就労継続者]医師として注力したいこと（男女別）

男女別でみると、「後進の指導・育成」、「医療制度・医療政策・診療報酬の知識取得」を選択した割合に差がある。

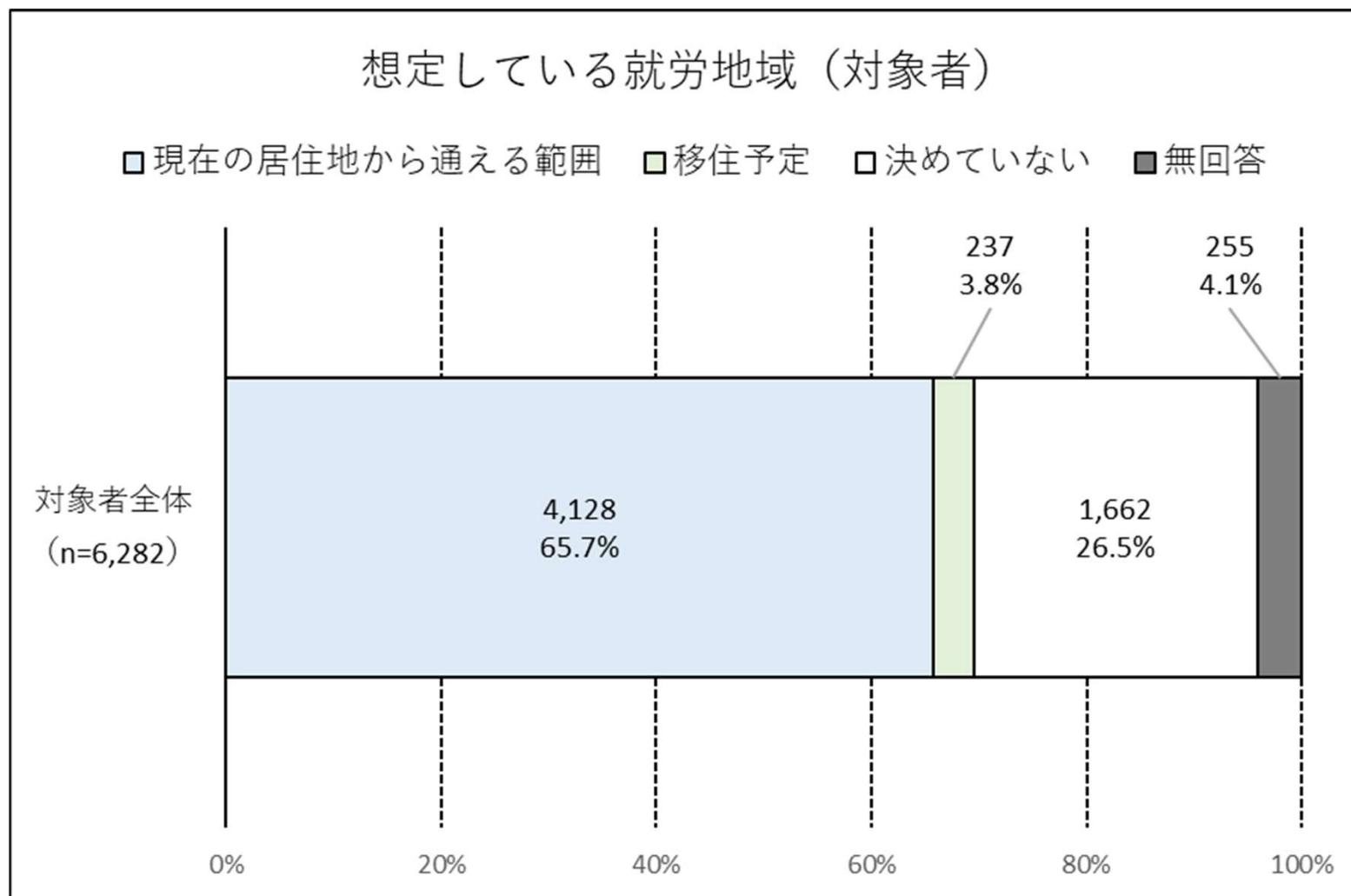


就労継続者：65歳以下で引退予定とした回答者以外

清水麻生、坂口一樹、羽藤倫（2024）
「50代医師の将来のキャリアプラン調査—現在の働き方と65歳以降に想定するキャリア—」日医総研ワーキングペーパー No.483

[就労継続者]想定している就労地域（対象者全体）

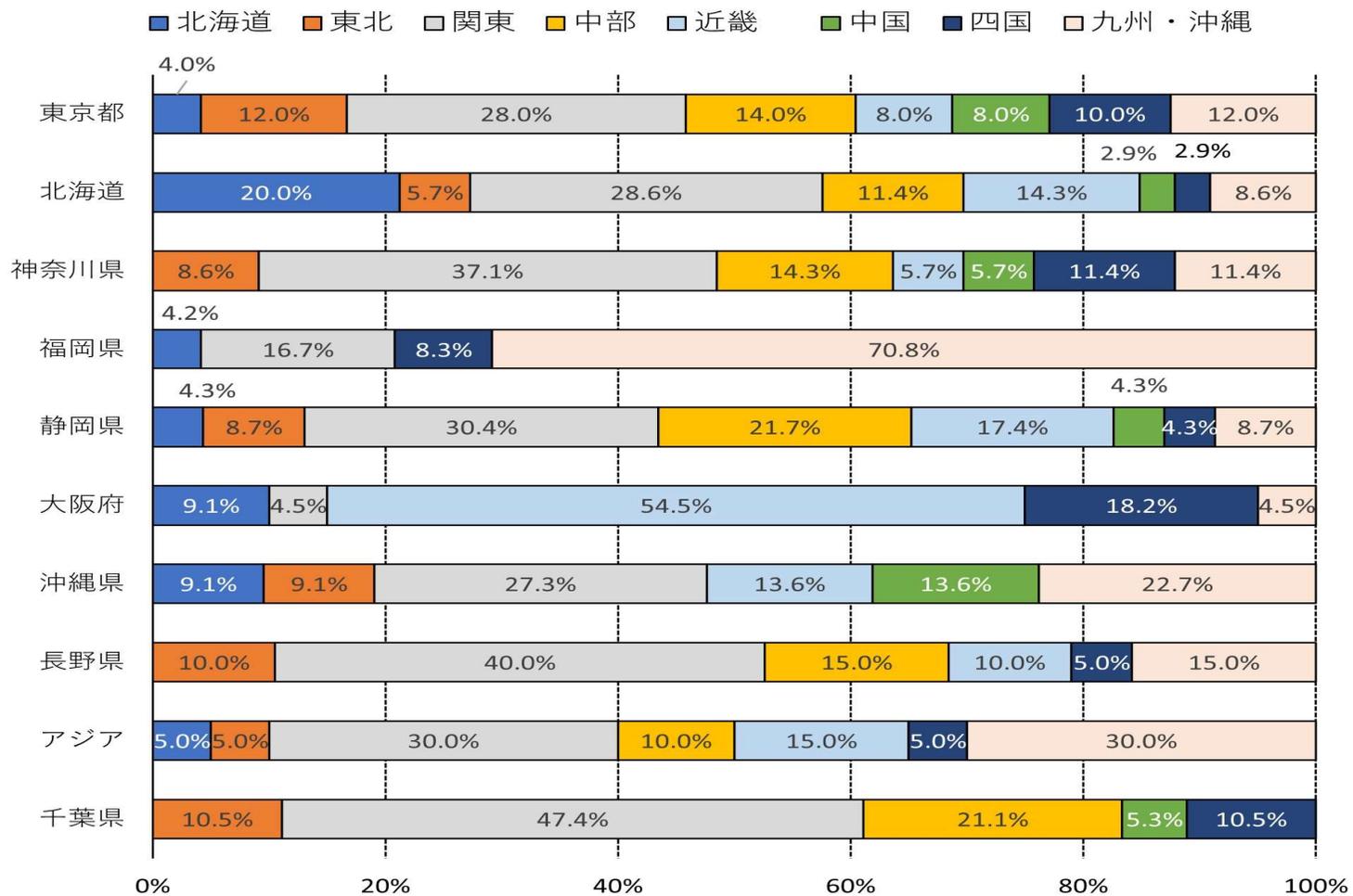
65歳以降に移住予定があるのは3.8%、決めていないが26.5%



就労継続者：65歳以下で引退予定とした回答者以外

清水麻生、坂口一樹、羽藤倫（2024）「50代医師の将来のキャリアプラン調査—現在の働き方と65歳以降に想定するキャリア—」日医総研ワーキングペーパーNo.483

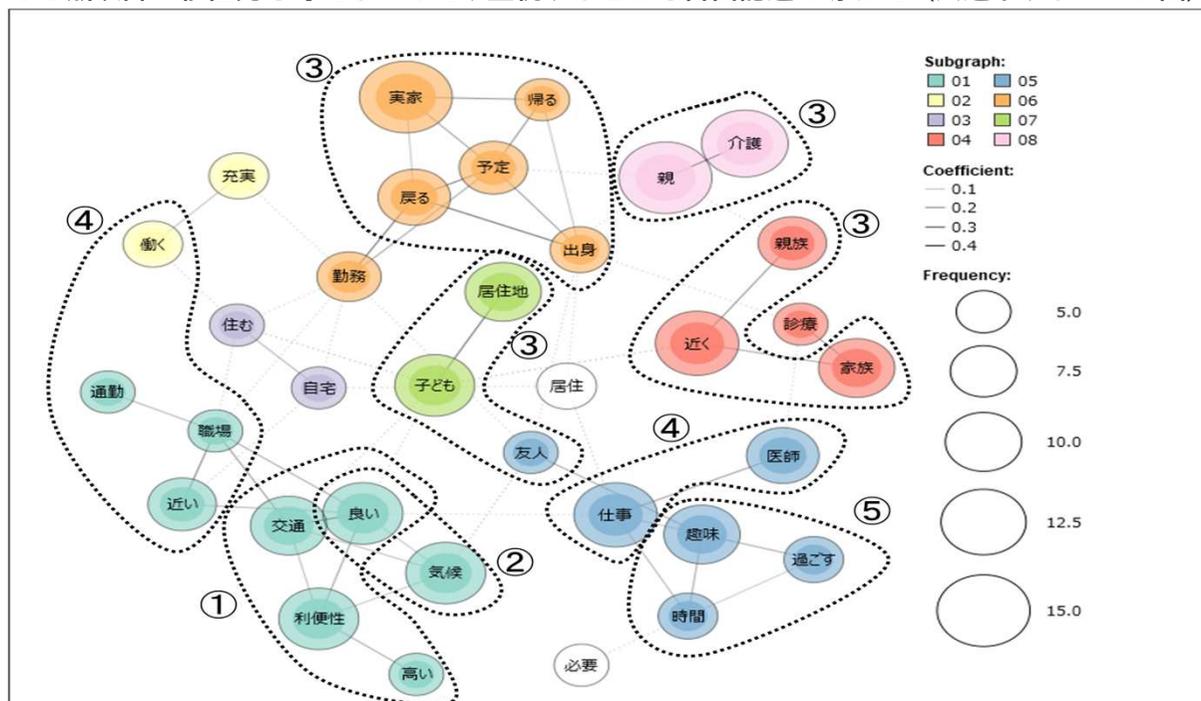
移住予定者が将来予定している移住先ランキング上位10都道府県
 (構成比は移住予定者が現在居住している地域)
 移住予定者 (n=237)



清水麻生、坂口一樹、羽藤倫
 (2024) 「50代医師の将来の
 キャリアプラン調査-現在の働
 き方と65歳以降に想定する
 キャリア-」日医総研ワーキン
 グペーパー No.483

移住先を考えるにあたって重視すること

65歳以降の移住先を考えるにあたり重視することを自由記述で尋ねた（共起ネットワーク図）



<自由記載からの分析結果> 5つの重視すること

- ①：公共交通機関・医療・介護等の充実、買い物のしやすさなどの社会インフラの充実
- ②：過ごしやすい気候や自然の豊かさ
- ③：親の介護も含めて、親族や友人がいる地域や出身地に戻りたいという気持ち
- ④：65歳以降も医師としての仕事がある地域、勤務先に近い場所への移住
- ⑤：趣味や自分の時間に多くの時間を費やすこと

令和6年度女性医師支援センター事業 今後の予定

令和6年度 女性医師の勤務環境の現況に関する調査

- < 8年ごとの定点調査(初回 平成20(2008)年度 / 今回3回目) >
- ・目的：勤務環境の実態や女性医師の活躍の場の整備状況を把握し、勤務環境の改善を図る
 - ・実施期間：令和6年11月下旬～12月
 - ・対象：全国の病院に勤務している(していた)女性医師



日本医師会公式SNSのご紹介

フォローをお願いします!



公式YouTubeチャンネル



LINE公式アカウント

ご清聴ありがとうございました



本日提示したアンケート調査等資料は
女性医師支援センターHPの「各種資料」でご覧いただけます。

<https://www.med.or.jp/joseiishi/article022.html>